

事務事業名	体育施設維持管理業務					☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
施策名	21	生涯学習の推進				所属係	スポーツ振興班	課長名	野本立一
基本事業名	80	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備				担当者名	坂井竹志	電話番号 (内線)	248-5555 1507
予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 02	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ・中央運動公園グラウンド・総合運動公園・黒石公園グラウンド・みずき台グラウンド・栄グラウンド・合生グラウンド・上生グラウンド・泉ヶ丘体育館・栄体育館・妙泉寺体育館・西合志体育館・総合体育館・武道館・弁天山キャンプ場の維持管理 (業務の内容) ・清掃委託、管理委託、機械警備委託、浄化槽管理委託、家用電気工作物保守委託、学校開放管理委託、修繕業務に係る設計書作成・契約事務・監理・支払事務 ・消耗品購入、支払事務及び運搬補充 ・光熱水費、燃料及び電話代支払事務 (予算の内訳) ・報酬、賃金、消耗品、光熱水費、施設修繕費、燃料費、印刷製本費、役務費、委託料、工事請負費、原材料費						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							人件費	事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費	人件費計 (B)	0
							人件費	トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

上記「(業務の内容)」に記載した事務を行なった。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

上記「(事業の内容)」に記載されている施設

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

常に正しく安全に利用できる状態を保つ。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

活動する場がある

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 委託件数	件
イ 修繕件数	件
ウ 支払事務件数	件

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア スポーツ施設数	箇所
イ 屋内施設面積	m ²
ウ 屋外施設面積	m ²

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 苦情件数	件
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円		13,072	13,000	13,000	13,000	13,000	
			一般財源	千円		13,498	18,637	19,000	19,000	19,000	
			事業費計 (A)	千円	0	0	26,570	31,637	32,000	32,000	32,000
	人件費	正規職員従事人数	人			5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間			2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	
		人件費計 (B)	千円	0	0	11,434	11,434	11,434	11,434	11,434	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	38,004	43,071	43,434	43,434	
活動指標	ア	件			20	20	20	20	20		
	イ	件			49	50	50	50	50		
	ウ	件			500	500	500	500	500		
対象指標	ア	箇所			14	14	14	14	14		
	イ	m ²			6,553	6,553	6,553	6,553	6,553		
	ウ	m ²			146,307	146,307	146,307	146,307	146,307		
成果指標	ア	件			40	30	20	10	0		
	イ										
	ウ										
上位成果指標	ア	%									
	イ										
	ウ										

合志市

事務事業名	体育施設維持管理業務	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
施設設置後、利用者が安全に、快適に利用できるように開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
年々施設の老朽化が進んでいる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
照明不具合、グラウンド整備がされていない、トイレの破壊・落書き等の苦情

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 意図の施設が常に正しく安全に利用できる状態を保つことにより、活動する場があるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 市が管理する施設であり、安全面、利便性等を考慮しなければならないので市が行う事業であるとする。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 現在の状態を維持できるよう努力する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 施設の安全性が保て無くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 市の施設なので、市で維持管理するのが妥当である。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 年数回のグラウンド整備、屋内施設の清掃など利用者に協力してもらい、委託料を削減する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 委託できる業務についてはすべて委託している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 利用料金の見直しが必要である

合志市

事務事業名	体育施設維持管理業務	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

- ・コミュニティ施設自主講座団体に予約申請基準日の便宜を図る代わりに、施設清掃活動の協力を依頼している。このような活動が定期利用スポーツ団体にも広がれば事業費の削減につながると思われる。
- ・H18実績で維持管理費38,000千円のうち、使用料で13,000千円賄っている。半分も賄っていないが・・・。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☒ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
- ・定期利用団体への施設清掃協力依頼
- ・適正な料金の設定

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・全体総括でも触れているように団体に何かしらのメリットがなければ協力が得にくいのではないかな？
- ・適正な料金設定とは？(施設維持管理費のどれだけの割合を使用料で賄うのか)

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項